

埼玉県議会議員

34歳

無所属



井上わたるの

県政報告

配るホームページ第47号



あなたは 94万1901 番目の読者です。← 前号までにお届けした枚数です。

和光市に関わるテーマは赤文字
県全体に関わるテーマは青文字
にしてあります

- ① 「首都圏空港機能強化技術検討小委員会」の中間取りまとめを受けて
- ② 災害支援の拠点づくりと地域全体をつなげる帰宅困難者対策
- ③ 人口減少社会における県営住宅の在り方について
- ④ 「緑のマスタープラン」の現在の位置付け
- ⑤ マレットゴルフの振興
- ⑥ 子宮頸がん予防ワクチン接種者への健康支援
- ⑦ こども動物自然公園における「動物園クライシス」について
- ⑧ 県営施設の利用促進等を絡めた投票率アップ作戦
- ⑨ (仮称)下新倉小学校新設の支援・協力について

皆さんこんにちは
7月11日に閉会した
6月定例会では
私も一般質問を行い
9つのテーマを
取り上げました

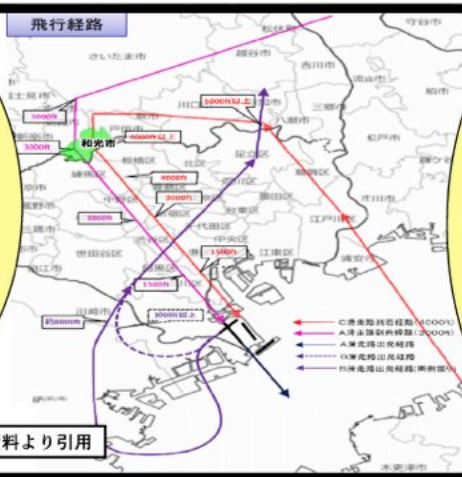
1



私は「知事には今後の議論
においては是非とも
県民の住環境を守る立場で
臨んでいただきたい」と
質問しました

3

この案によると
夕方の4時間、1時間あたり
最多で44機が和光市上空を
約900mの高さで飛行する
ことが検討されています
(※但し、南風の場合に限る)



飛行経路

まず「首都圏空港機能強化」
についてです
2020年東京五輪を見据え
羽田空港の日の中の離着陸回数を
増やすための新たなルート案が
公表されました

国土交通省 報道発表資料より引用

2



この他にも
(仮称)下新倉小学校の
安全対策について県立整備部と
警察本部に協力を要請しました

特に県道練馬川口線
吹上観音前交差点付近の
安全対策の実施について
前向きな回答がありました
平成28年度の開校に向けて
今後も県との協力体制を
築いてまいります！

5



知事からは
○ 飛行ルート案はあくまで
専門家の検討による技術的な
選択肢を示したものの
○ 国は今後、関係自治体や
航空会社等も参画した場を設け
空港の機能強化策の具体化に
向け検討・協議を行う考えである
○ 県としては、本県への影響を
踏まえ、県民の住環境に
配慮をして今後の国との協議に
臨んでいく
と答弁がありました

4



他にも今回の質問では
子宮頸がん予防ワクチンの副反応に苦しむ被害者への健康支援についても取り上げました

解説

子宮頸がん発生に関連があるとされる**ヒトパピローマウィルス**の感染を予防するために推奨されてきたワクチンを接種した後に、**重篤な副反応被害**(痙攣、不随意運動、視野狭窄、記憶障害など多様な症状がある)が相次いでいる。
(被害者は主に10代の女性)

	副作用の発生率	重篤な副作用の発生率
子宮頸がん予防ワクチン(サーバリックス)	245.1	43.3
子宮頸がん予防ワクチン(ガーダシル)	155.7	33.2
日本脳炎ワクチン	67.4	25.7
インフルエンザワクチン	7.5	2.3

(発生率は接種100万回当たりの発生数)
2013年6月15日東京新聞より

ワクチン副反応 県内で29人訴え
子宮頸がん予防接種 県内で子宮頸がんワクチンの副反応を訴えている人が少なくとも29人いることが、県議会本会議の県の答弁から明らかになった。

私は全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会埼玉支部の方々のお話も伺い被害に苦しむ実情を県議会で訴えました

2014年7月4日 朝日新聞

この質問により県内の副反応事例数が初めて公表されました

そして県の被害者への「医療」と「教育」の両面からの支援体制についても尋ねました

県の今後の支援策については新聞にも掲載されました



井上 航氏 (刷新の会、和光市)

【質問】2009年に子宮頸がんワクチンが厚生労働省によって認可された後、県では「接種緊急促進事業」を行ってきた。しかし、全身の激しい神経痛や意識障害などの副反応の報告が相次ぎ、13年6月以降は積極的な接種勧奨を一時差し控える措置がとられている。報告例の件数と措置後の接種状況はどうか。また、被害者負担の診療費用を県が支援できないか。重要なのは、新たな被害者を生まないためにも周知徹底すること。副反応被害で登校できない生徒に対しては

子宮頸がんワクチン対策

【答】がんワクチンが厚生労働省によって認可された後、県では「接種緊急促進事業」を行ってきた。しかし、全身の激しい神経痛や意識障害などの副反応の報告が相次ぎ、13年6月以降は積極的な接種勧奨を一時差し控える措置がとられている。報告例の件数と措置後の接種状況はどうか。また、被害者負担の診療費用を県が支援できないか。重要なのは、新たな被害者を生まないためにも周知徹底すること。副反応被害で登校できない生徒に対しては

【副根教育長】症状のある生徒には、学校全体で支援する体制づくりや心のケアなどきめ細かい対応が必要。教職員の研修会を通じて、適切な対応に向けて取り組んでいく。

2014年7月4日 朝日新聞

そして県議会全体としても今定例会で「**副反応被害の早期解決を求める意見書**」が全会一致で成立しました

新たな被害者を生まないように今後も取り組んでいきます

- 警察官の増員を求める意見書
- 「手話言語法(仮称)」制定を求める意見書
- 軽度外傷性脳損傷(MTBI)の判定方法及び労災認定基準に関する意見書
- 北朝鮮による拉致問題の一刻も早い全面的な解決を求める意見書
- 認知症高齢者の権利擁護に関する対策の充実を求める意見書
- 特殊詐欺の撲滅に関する決議

など

ちなみに他にもこのような意見書・決議が成立しました

そして市議時代から取り組んでいる「投票率向上」への提言も行い新聞にも掲載されました

県営施設の割引 考えて

投票率アップへ県議会で提案

県営施設の割引キャンペーン。2日「投票率アップ」をテーマとした県議会本会議があった。井上航議員が「選挙の活性化」をテーマに、県営施設の利用促進を求めた。井上議員は「投票率アップ」をテーマとした県議会本会議があった。井上航議員が「選挙の活性化」をテーマに、県営施設の利用促進を求めた。井上議員は「投票率アップ」をテーマとした県議会本会議があった。井上航議員が「選挙の活性化」をテーマに、県営施設の利用促進を求めた。

温泉半額の利用は1%未滿

先月行われた小川町長選でも町の温泉施設が「選挙」に行くと割引された。しかし、投票者の調査では、温泉施設の割引を利用した人は1%未満だった。投票者の調査では、温泉施設の割引を利用した人は1%未満だった。投票者の調査では、温泉施設の割引を利用した人は1%未満だった。

2014年7月3日 埼玉新聞

ご紹介しきれなかった質問は「井上わたるのホームページ」からご覧いただけます

私は今後も県民の暮らしと命を守り身近な県政、県議会を目指してまいります



井上わたるの茶話会



お茶やお菓子をつまみながらの気軽な会です。参加者の皆様の声を聞きながら進めてまいります。

8月30日(土) 10時~12時 定員 20名

本町地域センター5階会議室 (参加費無料)



県政をより身近に伝えます！是非お気軽にご参加ください。

埼玉県議会 6月定例会報告

6月定例会では28議案が成立しました。
主なものは下記の通りです。

●埼玉県一般会計補正予算 149億752万円

主な補正内容は2月の大雪被害の救済対策です。

- ・倒壊した農業用ハウス等の解体・撤去費用の助成 約7億3,452万円
- ・農業生産施設の再建、修繕に要する経費の助成 約138億1,777万円



※この他、大雪で膜屋根が倒壊した「彩の国くまがやドーム」の復旧費用に約17億円を追加することも決定しました。これは同様の積雪があった場合にも耐えられる工法に変更するためです。(この追加分は来年度予算として執行されます。)

私はこの積雪対策の強化を、2月の県土都市整備常任委員会で提言していました。

平成26年2月定例会 都市整備部関係 議案

発言者	発言要旨
井上委員	国の都市災害復旧費補助は、原形復旧が基本だが、 国庫負担法の第2条第3項では、原形に復旧することが著しく困難な場合や不適当な場合においてはこれに代わるべき必要な施設とすることもできる とされている。 補助の活用方針をどう考えているのか。
公園スタジアム課長	復旧に当たっては、 融雪対策や雪が滑りやすくするなどの対策を併せて考えたい。

対策の実現と併せて、国の補助制度が活用できたことで県の財源への負担を軽くすることにも繋がりました。

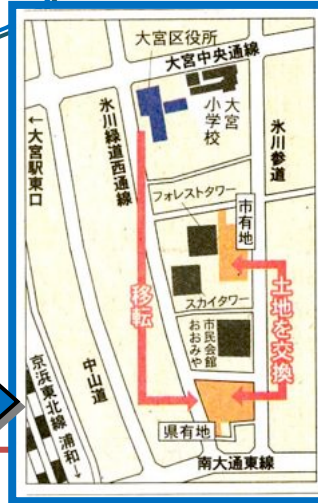


※なお、県議会では委員会会議録は公開されていませんが、私は議会改革の取組の一環として、自身の発言及び答弁の要点筆記を自主的にHPで公開しています。

●埼玉県母子福祉センターを「埼玉県母子・父子福祉センター」に改称するための条例改正 (利用対象にも「父子」が加わり、ひとり親の相談に対応します)

●越谷市が中核市移行にすることへの同意議決 (※人口30万人で移行可能)

●埼玉県が有する「大宮合同庁舎敷地」とさいたま市が有する「大宮区役所別館」の土地交換を認める議案 (これにより大宮区役所の移転が促進され、40年以上止まっていた大宮駅東口の再開発が進みます。位置関係は右図参照 埼玉新聞 2014年6月7日)



架け橋プロジェクトとは…

県が管理する県道や、県警が管轄する信号・交通標記等の気になる箇所をご連絡いただき、県との懸け橋となって伝える取組です。これからもお気づきの箇所があれば、お気軽にご連絡ください。

6月29日に地域の方から相談を受け、翌30日に県警へ対応を依頼しました。

現地調査の上、7月17日に改良工事が行われました。

通学路であることも伝え、県警に早急に対応してもらいました。



改善前

タイヤの摩擦で横断歩道が見えなくなっていました。。



改良工事後はハッキリと見えるようになりました。





改善後

6月25日の大雨被害を受けて ～県の対応を報告します。今後の「教訓」に！～

去る6月25日、和光・朝霞を中心とした県南西部を記録的大雨が襲いました。この雨により浸水被害を受けた方々に心よりお見舞い申し上げます。

発災後、私は被害の大きかった地域を回り状況を伺うと共に県道・河川を管轄する朝霞県土事務所や埼玉県警への調査を行いました。それらを踏まえ、今回の大雨での「県道での被害」と「県行政機関の対応」を下記にまとめましたので、今後の教訓・備えに活かしてください。

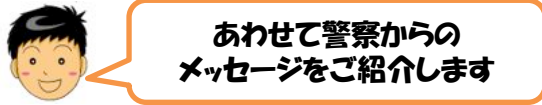
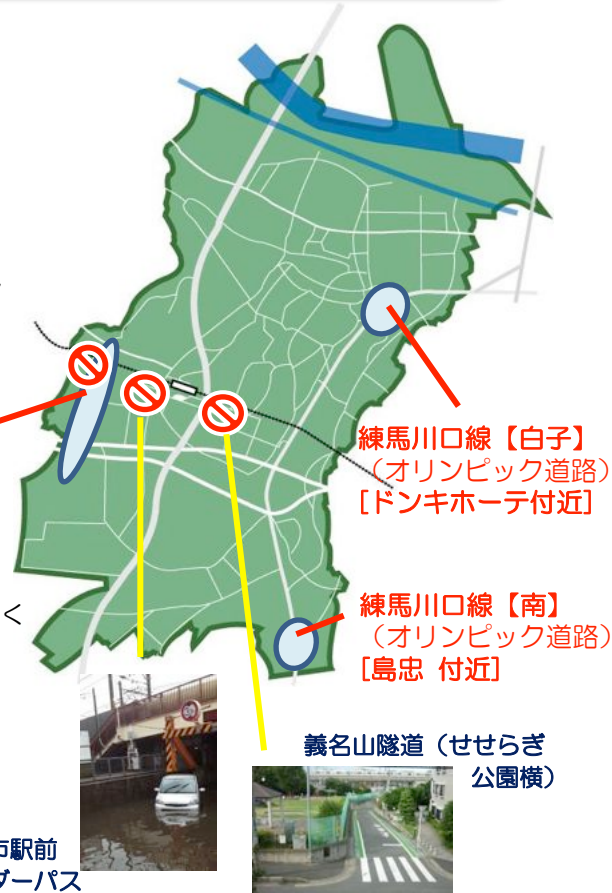
●**県道の冠水地点**・・・
(河川の氾濫なし)

●**県警が「通行止め」を実施した地点**・・・

広沢原清水線【新倉～本町】
【新倉地下道～菅野病院】

【参考】当日の時間経過

- 14:30 冠水情報が入る
- 14:40 通行止め開始
- 15:30 新倉地下道の水が引く
- 15:50 菅野病院付近の水が引く
- 16:50 通行止め解除



あわせて警察からのメッセージをご紹介します

高齢者やお子さんが一人の時に家の中まで大雨が襲ってきたら、迷わず110番してくださいね！



埼玉県警マスコット「ポッポくん」



和光市駅前アンダーパス



TBS系「NEWS 23」で政務活動費の情報公開の取組が紹介されました



7月30日、ローカルマニフェスト推進議員連盟主催の勉強会に参加した際に「NEWS 23」の特集「あなたの地方議会」の取材を受け、政務活動費等について尋ねられました。その夜の放送では、私や「刷新の会」が行っているホームページ上での情報公開の取組が紹介されました。埼玉県議会では1円

平成25年度政務活動費収支報告書

会派名 刷新の会 井上 航

1 収入
政務活動費 5,820,100 円

2 支出

分類	項目	支出額 (単位:円)
調査研究費	調査研究費	40,382
グループ活動費	グループ活動費	11,864

から領収書が必要であり、年々厳格な運用になってきていますがネットでの公開は進んでいません。放送でも語ったことですが、「自分たちで出来ることをやることで払拭できる部分もある。議員1人もしくは会派が取組を始めることで議会全体がやらざるを得なくなる」と考えて、この課題に取り組んでまいります。

ホームページもご覧ください！

井上わたる 検索

<http://inouewataru.com/>



◎ 埼玉と和光の政治をわかりやすく伝えます！

「井上わたるの和光ブログ」

<http://inouewataru.blog.shinobi.jp>



発行：埼玉県議会議員 井上わたる
連絡先：井上わたる事務所（刷新の会 和光支部）
〒351-0112
埼玉県和光市丸山台 1-10-18 アントワープ平岡
503号室（ドラッグストア「内観堂」の5階）
TEL 048-424-3684
FAX 048-424-3854
E-mail inoue_airline@yahoo.co.jp

※このチラシは多くの方の協力によって配布しておりますが、投函を希望されない方は右記事務所までご住所・お名前をお知らせくださいますようお願い致します。